



# 北九州市道路を愛するみなさんを応援! 道路サポーターだより

## 第5回 北九州市道路サポーター総会が開催されました!

2月9日(火)、西日本総合展示場新館で、第5回北九州市道路サポーター総会が開催されました。昨年のイベントは、花苗の講習会でしたが、今回は、学生時代に新宿駅東口で清掃活動を始め、現在も全国規模での活動を行っている荒川祐二さんをお迎えして、講演会を行いました。講演会会場には、若松高校の1、2学年の生徒さんも聞きに訪れ、多くの一般のお客さんも、荒川さんの講演に耳を傾けました。

第一部の総会では、北橋健治北九州市長の挨拶に始まり、昨年の総会以降に登録された新規団体の紹介、団体からの活動報告、市の取組み、総会実行委員の紹介が行われました。団体からの活動報告は、咲くまづくり穴生・木町本町町内会・グリーンワーク白野江チーム・ひびき花の会による1年間の活動報告でしたが、1年毎に皆さんの活動が活発になっていく様子が伝わってきました。第一部の最後には、荒川祐二さんの著書が当たる抽選会も行いました。

第二部のグループ別懇談会は、昨年以上の熱気のなか、区別に4つに分かれ、日ごろの課題や活動状況、などが

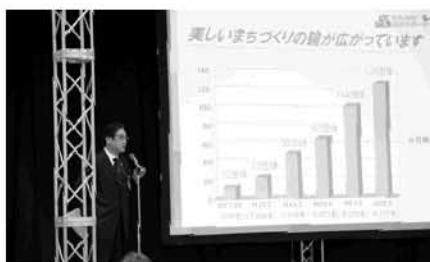
話し合わせ、活発な意見交換の場となりました。最後に、4つのグループ毎に今年の目標がまとめ上げられました。

第三部の交流会には、荒川祐二さんも一緒に参加。抽選で各団体のPRの時間が決まるという趣向で、事務局スタッフはハラハラ、団体の皆さんはドキドキのPRタイムとなりましたが、皆さんのユニークで楽しいPRで、一層交流の場が広がりました。

道路サポーター総会も今回で5回目を迎え、団体の皆さんの生き活きた活動の様子を一段と感ずることができるようになりました。また、普段は地域に分かれて活動していても、皆さんの気持ちはひとつ・自分たちの地域への「愛」だな・と実感した総会となりました。



荒川祐二さん



みなさん、どうぞよろしくお願ひします!

平成21年9月以降に認定された、新規団体をご紹介します。

## 新規加入団体紹介

区	団体名	区	団体名
門司区	コスモ海洋(株)	八幡西区	有限会社本城葬祭
小倉北区	足立山麓歩道愛護会	若松区	さわやかひびき園
小倉北区	高坊2丁目南町内会	若松区	1区自治会
小倉南区	モール大通り街	若松区	1区青々会
小倉南区	四季彩ロードサポーター	戸畑区	(株)ワイズ・コンピュータ・クリエイツ
八幡西区	まつぼっくりの会		

北九州市道路サポーターの認定団体は、現在135団体。なんと、約8,300名もの皆さんが積極的に活動されています。



## 第5回北九州市道路サポーター総会

### イベント 荒川祐二講演会「半ケツとゴミ拾い」

このコーナーでは、2月9日(火)に開催した、第5回北九州市道路サポーター総会のイベント、荒川祐二さんの講演会の模様をお伝えします。

荒川さんは現在23歳、見た目は今の髪型で、細身のスーツを着こなす青年といった感じでしょうか？  
もともと自分が大嫌いな青年でしたが、大学時代に1本のドキュメンタリー映画を見たことをきっかけに自分を変えたいという思いが芽生え、日本一汚い場所と言われる新宿駅東口の清掃をたった一人で始めました。その活動は、3ヶ月後には、50人以上に拡大し、2007年5月3日には全国一斉ゴミ拾いを開催するまでになりました。  
もちろん、今でもその活動は続いています。

講演会では、最初に荒川さんの清掃活動取材したビデオが上映され、参加されたみなさんは感慨深い面持ちでビデオを見ていました。

ビデオ上映の後、荒川さんはゴミ拾いを始めたきっかけや、ゴミ拾いを通してのいろんなエピソードをお話されました。大学時代、鬱屈として大嫌いな自分を持って余っていた時に見た、一人の女の子が多くの人の力を借りてマフラーを編み、アフガニスタンに送ったというドキュメンタリー映画は、不可能だと言われることに挑戦する大切さが描かれていました。荒川さんはこの映画を見て、自分も何かかたちにしたい、と思い立ったそうです。

大学3年の時に、一つ歳上のお兄さんから「ほんまに変わりたいなら、何でもいから実際に行動してみい。」とズバツと言われたことも荒川さんの心に変化をもたらしたようです。そして、荒川さんは、新宿駅東口の掃除を始めました。

荒川さんは、新宿駅東口を「一緒に掃除してくれる人募集!」と書いた看板を背負い、たった1人でゴミ拾いを始めました。一生懸命拾っても通るたびに、毎朝10袋以上のゴミが散乱するほどの汚さにうんざりしていました。翌朝6時には、またゴミだらけ。ゴミばかりではなく、中には嫌がらせをする人も。

心が折れそうになり、もうやめようと思っていたある朝、半ケツのホームレスのおじさんが掃除している光景が目に入ってきました。それから周囲に変化がおこり、「頑張れよ!」



と声をかけてくれたり、一人、また一人とゴミ拾いの輪が広がっていきました。

増えた仲間には、遠くはロシアから北海道、沖縄の人まで顔ぶれはさまざま。気づけばそこには、楽しくゴミ拾いをしている自分がありました。その時こそ、荒川さんが「大嫌いな自分から大好きな自分」に変わった瞬間なのでしょう。

最後に、荒川さんは「人生を変えたり、大きなことをしようと思った時に特別なことをする必要はありません。今自分自身にできる一歩を思い描いて、その一歩を踏み出せば、そこから人生はどんどん変わっていきます。僕は自分を変えたいという思いで、その時出来るのがゴミ拾いしかなかったから、とりあえずやってみようという思いで続けてきました。そして気づいたら大好きな自分に会えました。」と語りました。  
そして、「大切なことは、一歩を踏み出す勇気とあきらめないこと。今この瞬間の皆さんの一歩が人生を変える一歩であると信じて、人生を楽しんでいきましょう。」と、優しく力強いメッセージを伝えて下さいました。

ゴミ拾いを続ける力と、一歩を踏み出す勇気、そして、講演中に何度か発せられたまわりの方への「感謝」の気持ちを忘れない荒川さんとの出会いが、これからを担う若者や、ボランティアの皆さんの、これからの活動カバワーにつながっていくのではないのでしょうか？



交流会場でのスナップ

活動紹介  
スナップショットは、みなさんの活動をより多く紹介するコーナーです。



## 活動紹介 スナップ ショット

### 10月17日 北九州小倉病院

北九州小倉病院は、内科診療の他、健康診断や病気予防のための人間ドックに力を入れている病院。「医療だけでなく、清掃美化でも貢献し、地域の皆さんのお役に立ちたい」ということで、道路サポーターに登録されました。  
初回の活動予定日は、メンバー全員が楽しみにしていたものの、あいにくの雨で順延。変わりやすい秋の天気のため、5週遅れでの活動となりました。

#### 活動者&取材スタッフのコメント

道路サポーター活動は、北九州小倉病院の接遇委員会が中心となってメンバーを構成。地域のために清掃ボランティアをしようという趣旨のもと、88名の方が登録をされています。この日は子どもさん達も含め30名が参加。病院を中心にA・B班に分かれて活動エリアを清掃しました。北九州小倉病院の岩瀬さんからは「犬と猫のフン、それにたばこの吸殻が目立ちました。公園の草むらのなかにも多くのゴミがあって、正直驚きました。これからは近隣の道路サポーターさんとタイアップして、一緒に清掃活動なども行ってみたいですね。また、病院としては、セクションの異なるメンバー同士のコミュニケーションが図れました。さらに、清掃を通して地域のなかの病院ということを再確認する良いきっかけになりました。今後とも頑張っていきます!と力強いコメントをいただきました。北九州小倉病院の皆さん、これからもよろしくお願ひします!



### 10月30日 金

## (社)北九州市観光協会

(社)北九州市観光協会主催の「平成21年度百万にこここホスピタリティ運動」の一環として、参加者みんなで清掃活動を行いました。  
「百万にこここホスピタリティ運動」は、平成8年から、北九州市に来られるお客様をお迎えする市民のおもてなしの心を育もうと始まった運動です。この日は、観光客をお迎えする玄関口、小倉駅北口周辺を中心に、ゴミ拾いを行いました。



#### 活動者&取材スタッフのコメント

この日、清掃活動に集まった皆さんはおおよそ200人ほど。小倉駅前周辺は、国道199号線が通っており、自動車の往來の激しい場所です。また、駅前の広場は、人の往來も多いので、道路に面した植樹帯などに、タバコの吸い殻や空き缶などがポイッと捨てられていることがあります。日常的に団体の旅行客や出張先に向かうビジネスマンなど、市外からのお客様も大勢通る場所なので、参加した皆さんは、「小倉の玄関口をきれいに!」という気持ちを込めて、ひとつずつゴミを拾っていきました。  
ゴミを集め終えた参加者の皆さんからは、「市をあげてのまち美化に参加出来て嬉しい」との声が上がりました。これからも活動を広げていこうです。



### 12月5日 土

## NPO法人グリーンサポート

NPO法人グリーンサポートは、「地域のまち美化」に取り組んで、12月で設立5周年を迎えました。師走の冷たい風が吹き始めたこの日、近所の空手道場に通う子供達も参加して、地域のまち美化への思いを込め、清掃活動を行いました。  
朝9:30、まち美化ののぼりを目印に集まった参加者の皆さんは、小倉南区役所周辺や、都市高速道路の下などの清掃をしました。



#### 活動者&取材スタッフのコメント

保護者の皆さんと一緒に、子供達も単手に火バサミ、中には首にタオルを巻いて、はりきってゴミをひろいました。作業の途中から降り出した雨がひどくなった為、参加者の皆さんは冷たい雨に打たれながら集合場所に戻ってきました。手にはしっかりゴミの入った袋が、周辺の道路はスピードを出して走る車の通行量の多い場所です。あいにくの天気にもかかわらず、頑張って清掃活動を行なった皆さんに感謝して、ゴミのポイ捨てがなくなるように、私たちサポーター事務局スタッフも、もう一度、気持ちを新たに努めていきたいと思います。



## トピックス①

### エコスタイルタウン2009で道路サポーターをPR!

昨年10月17日(土)・18日(日)、北九州市役所周辺において、エコスタイルタウン2009が開催されました。エコスタイルタウンとは、環境にやさしいライフスタイルを提案する出展を行い、エコスタイルを体験できる場を創出するイベント。北九州市道路サポーターもブースを構え、PRを行いました。

会場では12月17日(木)に行われた「環境首都シンポジウム」の告知も実施され、多くの方々が足を止めて関心を寄せてくださいました。



## 美しき世界の環境首都を目指して!

昨年12月17日(木)、北九州劇術劇場で、全国モーターボート競走施行者協議会の助成により「美しき世界の環境首都シンポジウム」が開催されました。

第1部は、北橋北九州市長、岡本九州地方整備局長の挨拶の後、女優でエッセイストの松居一代さんの講演。

松居さんは、軽快に小走り登場!パワフルな楽しいトークで、あっという間に聴衆の皆さんを魅了しました。そんなパワフルでポジティブな松居さんですが、その秘訣は、やはり毎日のお掃除にあるそうです。

様々な困難に見舞われても、毎日コツコツお掃除を続けてきたことで、身の周りも気持ちも前向きになり、現在のご主人との出会いにつながったことなど、ご自身の体験を通して、聴衆の皆さんにお掃除で幸せになるコツを語りかけていました。

松居さんを拝見していると、爽やかに元気なお話ぶりから、ご自身だけでなく、周りの方にも幸せを分けておられる、そう

いう魅力のある方だと感じました。

第2部は、九州共立大学工学部、環境サイエンス学科教授の成富先生をコーディネーターにお迎えし、道路サポーター、公園愛護会、河川愛護団体、道守九州会議の活動者によるパネルディスカッションが行われました。

ディスカッションでは、まず北九州市の中尾建設局長から、それぞれのボランティア制度の状況について説明がありました。その後、それぞれの代表から、地域の活動状況や課題、今後の活動への期待など、地域とボランティア活動への思いがディスカッションされました。

河川愛護団体の芳賀さんは、世代間の交流の楽しさと続けることの大切さを話されました。公園愛護会の三好さんは、公園をもっともっと身近に、そして多くの方に利用していただきたいという思いと、地域だけでなく、行政も含め、ネットワークを広げることの重要性をあげられました。道路

サポーターの内山さんは、自分たちのことは自分たちでやろうという自発的な意識が、少しずつ環境美化への意識向上につながるのとの実体験を話されました。

また、一緒にパネラーとして参加された、道守九州会議の森さんは、北九州のボランティア活動の活発さに感心され、北九州から九州全体に、環境美化の意識と、地域のコミュニケーションが広がっていくことに大変期待感をお持ちでした。

皆さんが、無理せず、ボランティア活動を続けてこられたことで、まちを美しくするという意識の高さが一つの大きなうねりとなって、確実に北九州市全体に広がって行っているという実感が湧いてきました。

まちづくりの大きな柱を担うボランティア活動のシンポジウムとしては、今回はとても画期的なシンポジウムだったのではないのでしょうか？



## トピックス②

### 珍しい木の表彰状

昨年の10月23日(金)・24日(土)に開催された、「みちづくしみやざき2009」で、北九州市道路サポーターの活動が評価され、表彰されました。

北九州市道路サポーター制度は、今や九州のボランティア活動の中でも大注目ですね。

表彰状は、宮崎特産の飴肥杉を使った珍しい賞状です。

環境に配慮され、杉の良い香りに気持ちも癒される、素敵なプレゼントをいただきました。



## 花苗ワンポイントアドバイス

春本番に向けて…

寒い間は、咲く花も少なめでしたが、咲き終わった花がらや、枯葉などはカビ病などの原因になるので、きれいに取り除いてください。

また、花壇を注意深く観察すると、ノースポール・マルチコーレアリッサム・カレンジユラ・等々冬場に植えていた種類の花がたくさん芽吹いていることがありませんか？

周りの土を落とさないように、植え替えると立派に育ちます。

道路サポーターで支給される花ももちろんですが、植え付ける時には、堆肥や腐葉土などの有機物を土に混ぜ込んでください。

有機物は、消耗するので毎年追加する必要があります。

有機物には、植物に有益な微生物の棲み家や食物になり土が肥えてきます。同時に有機石灰を混ぜておくと良いです。

有機石灰は、かきの貝がらを砕いたもので、土を堅くしません。

園芸店で販売していますが、自宅で貝殻などが出た時は、塩分をよく洗い流してから、細かく砕いて土に混ぜてみてください。

エコにもつながりますよ…



名称 ノースポール  
1年草  
開花期 11月～6月  
花色 白  
花丈 約30cm



名称 マルチコーレ  
1年草  
開花期 2月～6月  
花色 黄  
花丈 25cm～30cm

## サインボードを設置しませんか？

北九州市道路サポーターには、皆さんの活動をバックアップする制度のひとつに、サインボードの設置があります。活動エリアでの清掃・花植え活動のPRに設置しませんか？

設置の基準は下記のとおりです。

- 設置場所は、原則植樹帯であること
- 道路サポーター制度に登録して1年以上の活動実績があること
- 継続して活動が見込まれること

※設置個所は、活動エリア内の2箇所。

デザインは第3回の総会で皆さんの多数決により決まったデザインですが、上部に団体の名前が入ります。

公共の場所への設置ですので、市との協議が必要となります。

詳しくは事務局(ふきの会 093-511-6700)まで。



事務局より

## 取材に参り隊!

事務局では、活動紹介スナップショットに掲載する団体の皆さんを募集しています。活動予定が決まりましたら、

ふきの会 **(093)511-6700** までご連絡ください。

スタッフが「取材に参り隊!」と皆さんの活動エリアに参ります(ˆoˆ)/ご応募、お待ちしております!



## ホームページをご覧ください!

●北九州市道路サポーターのホームページアドレス

<http://www.road-supporter.com/>

北九州市道路サポーターのホームページは、知りたいことがすぐにわかるような構成とし、活動レポートやニュースなど、「サポーターだより」でご紹介しきれない情報や各区の認定団体さんを掲載しています。「サポーターだより」ともどもご活用ください。



### 新規団体をご紹介ください

道路サポーターでは、道路の清掃や花植え活動を行っている団体を募集しています。みなさんのお近くやお知り合いに、清掃活動を熱心に行っている団体や企業の方がいらっしゃれば、ぜひご紹介ください。

ご連絡先

NPO法人 ふきの会 Tel. (093) 511-6700 担当: 奥中

新規団体登録の申請は、北九州市道路サポーターのホームページアドレスからダウンロードしていただけます。必要事項をご記入のうえ、各区役所まちづくり整備課へご提出ください。

清掃や花苗についての  
ご相談、お問い合わせは——  
NPO法人 **ふきの会**まで

【企画】〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2丁目16-43  
NPO法人 ふきの会 Tel & Fax:(093)511-6700  
【発行】北九州市 建設局 道路部 道路計画課 Tel:(093)582-3888

平成22年3月発行